

平成30年度は、「誇りをもって暮らせるまち三木」へ向けた本格的なスタートの年です。平成30年度の施政方針と、主な重点事業についてお知らせします。

問(市)企画調整課

「チーム三木」による市政運営

対話と協調、そして協働による市政運営

地方は人口減少、少子・高齢化と最大の難関に直面し、この難関を乗り越えるため、市民、企業、議員、そして市職員一人ひとりが一体となり、「チーム三木」として同じ方向に進んでいくことが、これからの三木市政にとって必要です。



まちづくりの基本方針

子どもから高齢者までが暮らしの豊かさを実感できる「誇りをもって暮らせるまち三木」を創るため、2つの基本方針のもと三木創生を進めます。

人口減少、少子・高齢化に  
対応したまちづくり

市内の人口は、ここ20年で1万人減少し、高齢化率も上昇しています。この状況を乗り越えるため次のように取り組みます。

課題	解決策
医療、介護など 社会保障経費が 増加	地域で活躍できる場を創出し、元気な高齢者を増やす。
若い世代の流出	働く場を作り、安心して子どもを産み育てられる環境を整備する。
老朽化した公共 施設の増加	人口規模・利用状況に見合った維持・改修など。

交流人口の増加による  
活力あるまちづくり

市内に潜在する地域資源を最大限に活用し、まちなぎわいと地域経済を活性化します。そして、「持続可能なまち」とし、人口減少、少子・高齢化に耐える力を高めていきます。



三木が誇る地域資源

- 特産品
  - ・ 伝統技術に培われた高品質の三木金物
  - ・ 日本一の質と生産量の酒米山田錦
  - ・ 県下一の栽培面積の生食用ブドウ
- スポーツ
  - ・ 西日本一数の多いゴルフ場
  - ・ 日本最大級の屋内テニス場
  - ・ ブルボンビーンズドーム
- 防災
  - ・ 広域防災拠点の三木総合防災公園
  - ・ 世界最大級の震動破壊実験施設 Eーデイフェンス

基本方針の実現に向けて

三木市総合計画の策定



現在「2060年に人口5万人」を維持することを目標に掲げており、新たに策定する三木市総合計画は将来にわたってまちの活力を保ち続けるための羅針盤となります。

市政への市民参加



「市政懇談会」を開催し、市民の市政への参加を促すとともに、住民自治の促進に寄与していきます。

市民目線に立った組織改正



市民に分かりやすい組織機構、組織名に改め、グループ制から係制へ変更することで、市民目線の行政運営を進めます。

持続可能な財政基盤の確立



真に必要な行政サービスを提供できるように既存事業の見直しを徹底する一方、新たな収入を確保することで健全で持続可能な財政基盤を確立します。

まちづくり  
における  
主な  
重点事業

次の5つを施策の柱として、三木創生に取り組みます。

- その他の重点施策
  - ・ 市ホームページをリニューアル
  - ・ (仮)三木スマートインターチェンジの推進
  - ・ 生涯活躍のまち構想の推進

- 教育環境の整備・充実
- 学校などの施設改修のための「長期改修計画」の策定
  - 新入学用品費の前倒し支給
  - 文化会館大ホールおよび女性用トイレの改修



地域に根ざした  
仕事の創出

- ひょうご情報公園都市の次期工区の開発について県と連携することを検討
- 中小企業の革新的な事業展開に必要な設備投資に助成
- 起業家への支援を拡大
- 山田錦の奨励金制度の新設



地域資源を活用した  
観光振興

- 「ゴルフツーリズム」などによるインバウンド戦略
- 「別所ゆめ街道」を活用した観光戦略
- 「道の駅みき」の空調設備や「吉川温泉よかたん」の改修など



安全・安心な  
ふるさとの構築

- 公民館の耐震化を推進
- 空き家対策の推進
- 老朽ため池の改修などの推進
- 「産後ケア事業」を開始



広域公共交通網の整備

- 神戸電鉄粟生線の活性化
- 新たな「三木市公共交通網計画」の策定
- デマンド交通の導入検討

